

平成25年3月期 決算の概要

当期のクローラクレーンの需要は、欧州経済の低迷継続に加えて中国やインド等の経済成長の減速によって、世界経済がより不透明感を増す中、対前年比では日本、北米などの先進国地域は増加しましたが、新興国地域は減少に転じ、世界全体ではほぼ横這いとなりました。

日本市場は震災復興を背景にした公共工事の増加や民間工事の緩やかな回復によって、好調に推移し、クローラクレーン新車需要は前期比36%の増加となりました。

海外市場は主要市場の北米では経済の緩やかな回復やエネルギー関連工事の増加により需要は増加に転じましたが、西欧は財政問題の影響により引き続き低迷しております。一方、新興国地域においては中国やインドは経済成長の緩やかな減速によって需要も横這い又は減少しましたが、その他アジア地域などでは需要は増加傾向にありました。

こうした厳しい市場環境の中、当社は新製品の発売、原価低減や固定費低減など各種施策に取り組んだ結果、当期の業績は以下の通りとなりました。

【平成25年3月期の経営成績（連結）】

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
当期	27,752	2.5	1,412	185.8	1,362	199.3	1,081	571.4
前期	27,068	16.9	494	—	455	—	161	—

国内事業については、新車需要の増加に加え、排ガス規制対応機種の新製品による販売数が増加し、またサービス事業においてはお客様の多様なニーズに対応した結果、当期の国内売上高は15,503百万円（前期比17%増）となりました。

海外事業については、北米ではLink-Belt Construction Equipment Company、欧州地域においては、Hitachi Construction Machinery (Europe) N.V. など各地域の代理店と連携し、代理店の販売支援や新興国市場の開拓などに努める一方で、排ガス規制対応機種や新興国向け機種といった新製品の発売を行いました。しかし、厳しい為替環境などにより当期の海外売上高は12,249百万円（前期比11%減）となりました。

世界経済は依然、先行き不透明な状況が続くと予想され、クローラクレーン市場の世界需要においても急激な回復は見込まれませんが、当社は以下の重点方針を推進することで、引き続き、競争力の有るスリムな事業体質の構築を目指します。

- 1) 徹底した原価低減の推進
- 2) 市場要求に合った新機種開発の推進
- 3) 関係会社及び代理店との連携強化による顧客満足度のさらなる向上
- 4) 固定費圧縮の継続
- 5) キャッシュフローの改善
- 6) 内部統制を重視した企業体質の強化

（お問い合わせ先）
日立住友重機械建機クレーン株式会社
経営企画部
Tel/ (03)3845-1386 Fax/ (03)3845-1379
〒110-0015 東京都台東区東上野六丁目9番3号
URL/ <http://www.hsc-crane.com>